

# 台湾最高峰『玉山 3952m』登頂と観光三昧

安彦 秀夫（東葛山の会）

参加者：11名（男性5名、女性6名）+ 現地ガイド1名

日程：5月21日（月）～26日（土） <6日間>

東葛山の会の仲間（茂原道標山の会1名含む）と一緒に、台湾最高峰の『玉山 3952m』登頂と台北市内及び近郊の観光、そして北投温泉を満喫してきました。



## <1>第1日目：5月21日（月）

不安と期待を抱いて台湾『桃園国際空港』に降り立ち、迎いの観光&登山ガイドの黄（こう）さん（男性）の迎えを受けました。黄さんは、大阪大学に2年以上も留学したことがあり、日本語はバッチリで、意志の疎通には困りませんでした。

専用車で高速道路を南下し、高速を降りた町（嘉義）で夕食を摂り、阿里山のホテルに着いた頃には、真っ暗でした。登山の準備をして早々にベッドに入りました。

## <2>第2日目：5月22日（火）

ホテル近くのコンビニ（セブンイレブン）で、2日分の昼食（おにぎり、パン、バナナ各2個/人）をガイドが仕入れ、登山口手前の駐車場に専用車にて向かいました。

管理事務所で入山手続きをし、シャトルバスで登山口へ。『玉山登山口』と彫られた大きな岩の前で記念写真を撮り、今宵の宿『排雲山荘』に向けて歩き出しました。

良く整備された登山道で、『0.5km』毎に標識があり、また、途中で2ヶ所の休憩所とトイレもありました。但し、どちらのトイレもできれば使用したくない雰囲気でした。

午後に雨に遭いましたが、『排雲山荘』に着く頃には止んでおり、12名（101～112）部屋（上下各5名収容と上下各1名収容の2段の棚）に入り、荷物の整理や着替え等を済ませ、夕食まで思い思いに過ごしました（現地ガイド1名も一緒の部屋に入りました）。

ふと小さな窓から外を見ると、空が夕陽で赤くなっているではありませんか！慌ててカメラを持ち外に出ました。運よく、夕陽に照らされる『玉山山頂』を木の間から見る事ができました。（近くで写真を撮っている若い地元の男性に、『玉山山頂』を確認しましたが、本当かな…？）

夕食を済ませ、早朝の出発に備え、シュラフに入りました。

### <3>第3日目：5月23日（水）

午前1時前に起き、軽朝食を摂り、2時にヘッドランプを着け小屋を出ました。小屋の玄関にある温度計は、『4℃』を示していました。でも、私は、寒く感じませんでした…。

星空の下、ヘッドランプの灯りを頼りに山頂を目指しました。途中の説明看板の表面は凍っていて、読めませんでした。微かに『3794m』を確認できました。『富士山山頂より高い地点まで来ているよ！』と、皆に知らせました。

明るくなり出した頃に、急な岩場を九十九折れに登り、山頂に着きました。山頂標識で先ずは集合写真を撮り、その後、一人一人でも撮り、日の出を待ちました。

雲の間から太陽が昇り、刻々と変わる雲や空、そして周りの山の色の変化を見つめていました。山頂で40分程過ごした後、『影玉山』を眺めながら下りました。

排雲山荘で朝食（台湾ラーメン？）を摂り、前日歩いた道を登山口まで戻りました。途中の『白木林休憩所』からは、前日見られなかった『玉山』を、霞んではいきましたが眺めることができました。ポスターやガイドブックなどでお馴染みの玉山は、東側から撮られているようで、今回眺めた玉山の姿ではないようです（西側から眺めました）。



専用車で台北に戻り、ホテルにて『玉山全員登頂！』を祝して乾杯しました。

### <4>第4日目：5月24日（木）

今日は台北近郊の観光です！先ずは奇岩の『野柳』へ。まるでクレオパトラのような形の『女王頭』は、首部分が浸食・風化で今にも折れそうでした。保護策は取らないそうですので、折れる前にどうぞ！他にも、燭台、亀、サンダル、豆腐、ソフトクリーム、…。『想像力を豊かにして眺めてください…』とのことでした。

『十分』では、『十分瀑布』を見た後、願いを書いて『天燈揚げ』を鉄道線路上で楽しみました。電車が来た時は、皆、サァーと両側に避難しました。

『九份』に移動し、先ずは『基隆山』山頂を目指しました。急な石段を一汗も二汗もかいて山頂へ。霞んではいきましたが、360度の眺望でした。九份の街に降り、宮崎駿監督のアニメーション『千と千尋の神隠し』の舞台とイメージが重なる景色が多い『基山街』や『賢崎路』を散策した後、提灯に灯りが点いた『阿妹茶酒館』を望む『海悦樓』で、沈みゆく夕陽と先ほど登ってきた基隆山を望みながら夕食を摂りました。

台北に戻り、『士林観光夜市』を散策しホテルに戻りました。

### <5>第5日目：5月25日（金）

今日は台北市内の観光です。車窓より『総統府』を眺め、台北で最も古く有名な廟『龍

山寺』へ。多くの信者がお祈りをしていました。

『中世紀念堂』では、衛兵交代式を見た後、蒋介石の生い立ちなどの写真や展示物などを見学しました。当時使用されていた車『キャデラック』も展示されていました。

昼食後、『瑞泰茶荘』にて女将が口上しながら点てた各種のウーロン茶を味わいました。私は、最後に頂いた黒烏龍茶が好きで、ついつい購入してしまいました。高価！

本日のお目当ての『故宮博物院』へ。ガイドの説明を聞きながら、3階で必見の2大名宝彫刻『肉形石』と『翠玉白菜』、そして2階で陶磁器『三彩文官俑』、更に1階で『鏤彫象牙雲龍紋套球』などを見学し、古の中国に想いを馳せました。

北投温泉のホテルでは、日本と同じ大きなお風呂で汗を流した後、台湾での思い出を語り合いながら夕食を楽しみました。

### <6>第6日目：5月26日（土）

今日は台湾最終日です。ホテルの近くにある名所の『梅庭』、『地熱谷』そして『普濟寺』などを散策しました。（『北投温泉博物館』は、全面改修工事中で見学できませんでした。）

『普濟寺』は、京都にある『妙心寺』と兄弟寺（姉妹寺とは言わないようです）を昨年2017年12月に締結したようで、本堂の柱に標柱が付けられています。住職夫妻（？）が色々と歴史などを説明し、ウーロン茶をわざわざサービスしてくれました。前日、お茶屋さんで飲んだウーロン茶より美味しく感じられました。



ホテルに戻り、ガイドの黄さんが『三線』のサプライズ演奏を聴いた後、専用車にて早めに空港に行き、出国審査前ゲートにて、6日間お世話になった黄さんに別れを告げました。

### <7>最後に

緊張（？）で体調を崩したり、富士山より高い山に初めて挑戦するとあって緊張した面持ちでの参加者がいたようでしたが、皆元気に玉山山頂に立ち、ご来光を迎えることができました。

また、下山後は台北郊外や市内の観光を楽しみ、最後は、北投温泉のホテルで、日本と同じ大きな大浴場で身体を伸ばすことができました。

玉山登山は、1日の入山制限があり、入山4ヶ月前に『外国人枠24名/日』を利用して申請しました。許可を得た時は、『これで行ける！』ということでホッとしました。

台湾最高峰『玉山』の山頂を、参加者11名全員と一緒に踏むことができたことは、参加者の皆様のご協力の賜物と感謝しています。ありがとうございました。(2018/5/30/Wed.)